

# Schule im Berg

山の文化は、いつの時代にも、安直な文明に対して、批判的だった。  
山の人間は、自ら感じ、求め、歩きながら、静かに語り合った。  
芸術家たちが山に集った、東西の地下水脈を偲びながら。  
2008年夏、新しい学びの場が、那須に甦る。

**アート・フェスタ那須2008**

# 山のシユール

五感の交わる、那須の夏、クリエイティヴのゼロ地点を求める三日間。— サマー・オープン・カレッジ  
**2008年8月29日[金] / 30日[土] / 31日[日] [www.artbiotop.jp](http://www.artbiotop.jp)**

会場=アート・ビオトープ那須・工房(ガラス工房、陶芸工房) / アート・ビオトープ那須・アネックス / にき倶楽部1986(本館)ホール / アート・ビオトープ那須周辺地域  
●主催=第一回 アート・フェスタ那須2008 実行委員会 / NPO法人アート・ビオトープ(共催アート・ビオトープ那須) ●後援=株式会社下野新聞社 / 株式会社栃木放送 / ジャパンタイムズ  
那須町教育委員会 / 葉山文化園 / 連志連衆会 / オランダ王国大使館 ●協賛・協力=植木酒店 / 株式会社マック / 株式会社三喜 / 株式会社みつわランドリー / 株式会社リーフル / 健康医療市民会議 / ココ・ファーム・ワイナリー / さいとう / 田辺建設株式会社 / 千葉防災設備株式会社 / 那須植物園 / 松山油脂株式会社 / アカデミー・デュ・ヴァン / こまつ座 / 株式会社一休  
株式会社コンパスポイント / 株式会社デジタルステージ / スクーリング・パッド / 二期倶楽部 / 東京電力株式会社 / 藤原養蜂場 / マミフラワーデザインスクール / Muse Company / 森羅塾



# LECTURE

レクチャー講座

文化と環境空間のあり方を考える  
一講座一時間半、各4,000円

## 29日[金]

### 小さな世界に生きる

風土からのデザイン、工芸、そして食を融合した場づくり

#### 馬場浩史

スターネット/馬場浩史環境設計事務所主宰

8月29日[金]11時～12時30分

80年代以降、パリや東京を中心に世界的に活躍した、伝説的なデザイナー、熊谷登喜男による「TOKIO KKUMAGAI」ブランドを総合的にプロデュースしていたデザイナー兼プロデューサーの馬場浩史が、何故ゆえに、益子に見せられ、陶芸家や陶工との共同製作や地の生産者との連携によって、新しい場をつくるにいたったか、デザインやアートによる暮らしのための、地域創生譚。



### 蒐集入門 美に出会う、美と生きる醍醐味

#### 塚田晴可

ギャラリー無境主人

8月29日[金]11時～12時30分

94年に銀座にギャラリー無境を開廊、東西の古美術や幅広いジャンルの現代作家の作品を紹介している。環境・空間と「モノ」との調和を目指して、古今東西の美に出会い、触れてきた清々しい体験談を語る。



### 世界言語としての映像 映画産業の最前線に立って

#### 李鳳宇

映画プロデューサー/シネカン代表

8月29日[金]11時～12時30分

どんなに素晴らしい表現の映画だとしても、観客に観られなければ意味がなく、興行的に成功した映画だとしても、後世まで残り、映画文化を支える作品になるとは限らない。映画プロデューサー、李鳳宇が、今後の映画に込める想いを交えつつ、映画の製作プロセスや、様々な映画について、多角的に語る。

### 私らしく自然と親しむ人生

林住期の豊かさ

#### 桐島洋子

作家

8月29日[金]14時～15時30分

処女作「渚と滯と舵-ふうてんママの手紙」に始まり、「淋しいアメリカ人」で第3回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。独自の育児論、女性論、旅行記など多数の著作の他、講演など幅広く活動する一方で、子育てを終えてからの熟年期=林住期は仕事を絞り、年の三分の一はカナダで晴耕雨読する。自分らしく人生を愉しむ達人が、自然との向き合い方を伝授。



### シェーカー、シュタイナー、リゾート文化の起源と学び

#### 新見隆

武蔵野美術大学芸術文化学科教授/ギャラリー冊/アートビオトープ那須顧問

8月29日[金]14時～15時30分

デザイン、建築、美術、音楽に精通したキュレーター、文化史家が、わかりやすく説き起こす、「文明的」文化運動のルーツとその現在。

### 余白の芸術

#### 李禹煥

美術家

8月29日[金]14時～15時30分

世界の前衛を牽引してきた哲学者・美術作家が、自作を語り、現在の人類の直面する問題を、美術を通じて語る。

### 遅筆堂の地方学 ふるさと山形をみつめて

#### 井上ひさし

小説家/劇作家

8月29日[金]16時30分～18時

デビュー作『日本人のへそ』から最新作『ロマンス』まで、書いた戯曲は60作。その膨大な執筆資料を所蔵する「遅筆堂文庫」は、昭和62年に故郷の山形県川西町へ蔵書7万冊を寄贈したことから生まれました。以来、20余年、送り続けた蔵書は20万冊。そしてこの9月には、山形市蔵王に劇場を併設した「遅筆堂文庫山形館」がオープンします。成長する図書館「遅筆堂文庫」のこれまでの歩みとこれから。



### 天国はつくるもの

世界に木を植え続ける男が語る

#### てんつくマン

路上詩人/軌保博光

8月29日[金]16時30分～18時

特別ゲスト

### 細川由来の井戸茶碗

#### 金原亭馬治

落語家

8月29日[金]

講座の間に講座にまつわる落語のお楽しみ会を予定しております。(500円・当日)

## 30日[土]

### 身近な眼差し、遠い憧れ フランス詩の魅力

#### 吉田加南子

詩人

8月30日[土]11時～12時30分

周知のように19世紀から20世紀、そして今日に至るまで、フランスの詩は近現代文学のトップランナーとして豊かに花開き、日本の詩にも大きな影響を及ぼしている。本講座では、1、ボードレール、ランボーまでの代表的な詩人たちの世界の魅力を探ると共に、2、上田敏「海潮音」、堀口大学「月下の一群」などの訳詩集や小林秀雄のランボー翻訳、中原中也の翻訳などを通して、日仏の詩の交渉を考え、3、言語芸術としての詩のあり方に触れる。

### カルチュラル・デモクラシーとアウトサイダー・アート

#### 伊地知裕子

アートコーディネーター/MUSE COMPANY代表

8月30日[土]11時～12時30分

すべての人が自分をアートを通して表現することから本来のデモクラシーを実現していこうと始まったコミュニティ・アートの原点を見つめながら、新しいアートの可能性を考える。



### 自然と共生するアートの実践

インゼルホンプロイヒとマチルダホフ[ドイツ]の実践から

#### 伊藤俊治

美術史家/東京藝術大学 美術学部 /先端芸術表現科

8月30日[土]14時～15時30分

写真評論、二十世紀美術を専門とする気鋭の美術史家が、ドイツでアートビオトープのような活動をしている、湿原のなかの郡島美術館インゼルホンプロイヒとヘッセン大公ロードヴィヒが1899年につくったアーティストコロニーであるダルムシュタットのマチルデンホフという新旧二つの場所を中心に、地域づくりという視点から自然とアートと人の関係性を語る。臨場感あふれるレポート。



### ルネッサンスの美術とパトロンの文化

その過去・現在

#### 遠山公一

美術史家/慶応義塾大学文学部教授

8月30日[土]14時～15時30分

ピエロ・デラ・フランチェスカを始め、絢爛たるルネッサンス文化を深く研究してきた気鋭の学究が長いヨーロッパ滞在経験によって培ったパトロン文化の真髄を親しみ易く語っていく。

### 建築は変わらなくてはならない

#### 伊東豊雄

建築家

8月30日[土]16時30分～18時

エコロジーとかサステイナビリティが21世紀の建築にとって最大のテーマであることは誰の目にも明らかで、そんな中、建築はひたすら性能をあげるために自然との関係を断ち、均質な人工環境を強化してきた。多くの秀れた建築家達のデザインによる白いキューブの建築。ミニマルで抽象度をあげる程それらは美しいと評価される。講座内では、建築の在り方、思想を、今一度、考え、話し合っていく。



### テーブルの上の花文化

#### 川崎景介

花文化研究家

8月30日[土]16時30分～18時

なぜ、人は花を愛し、飾ってきたのだろうか？花は、無限の日常の彩り。また、自然との稀有なコミュニケーション。世界各国の花文化を研究する川崎景介氏による、生活に密着した花文化論。



### 壮麗な城館が生む偉大なワイン ボルドー

#### 原宏隆

シニアワインアドバイザー/アカデミー・デュ・ヴァン講師

8月30日[土]16時30分～18時

老若男女が食卓で楽しみ、日本にも根づいた、ワイン。奥深さは、はるかな長い文化と歴史の地層をもった、ヨーロッパならではの。世界に冠たる銘醸ワインが、自然を年月を超えて育てる。錬金術的魔術であることなど、ワイン文化の泰斗が語るワインの歴史と魅力。前編。

特別ゲスト

### 江戸のからくり大公開

#### 半屋弘蔵

からくり人形師

8月30日[土]13時～

からくりの技術は、秘伝中の秘伝、門外不出が当然の江戸時代に継られたからくり半蔵による貴重な機功図彙が元となる。先達が未来に伝えようとした想いを現代に継承し、その想いをさらなる未来へと繋げたいと、半屋春光を師匠に、からくり人形師となり、活動を続ける半屋弘蔵氏が、からくりの秘密を公開。貴重なお楽しみ会。

## 31日[日]

### 能と身体技法

失われた、身体のリアリティーを見直す

#### 安田登

能楽師

8月31日[日]11時～12時30分

能楽師はなぜ高齢になっても現役を続けているのか。能楽師安田登が、深層筋を目覚めさせる能の動き、コアを鍛える方法、ストレスを行動エネルギーに変える能の呼吸、発声法等の実習をおりませつつ、神話・身体・儀礼についてなど様々なアプローチからレクチャーしていく。2セッションの内容はそれぞれ異なる。前編。



### メセナとアート・マネージメントの地域学

#### 熊倉純子

文化政策学/東京藝術大学准教授

8月31日[日]11時～12時30分

企業メセナの専門家にして、現在は、新設の舞台芸術創造学科で、後進を指導する学究が、地域において、アートと住民がどのように、利他的でありうるかを語る。

### 弾ける繊細な泡だち スパークリングワイン

#### 原宏隆

シニアワインアドバイザー/アカデミー・デュ・ヴァン講師

8月31日[日]14時～15時30分

老若男女が食卓で楽しみ、日本にも根づいた、ワイン。奥深さは、はるかな長い文化と歴史の地層をもった、ヨーロッパならではの。世界に冠たる銘醸ワインが、自然を年月を超えて育てる。錬金術的魔術であることなど、ワイン文化の泰斗が語るワインの歴史と魅力。後編。



### 神話と身体 歴史と人間をつなぐ身体学

#### 安田登

能楽師

8月31日[日]16時30分～18時

能楽師はなぜ高齢になっても現役を続けているのか。能楽師安田登が、深層筋を目覚めさせる能の動き、コアを鍛える方法、ストレスを行動エネルギーに変える能の呼吸、発声法等の実習をおりませつつ、神話・身体・儀礼についてなど様々なアプローチからレクチャーしていく。2セッションの内容はそれぞれ異なる。後編。

### 21世紀のアースリテラシー

#### 竹村真一

文化人類学者/京都造形芸術大学教授

8月31日[日]16時30分～18時

山のシュール関連企画

### アート・ビオトープ

[ワークショップ作家小作品展]

中村錦平(陶)・中村洋子(陶・ステンレス・メッシュ)・樋口健彦(陶)

十高橋禎彦(ガラス)・板橋廣美(陶)・中島晴美(陶)

会期:2008年8月29日[金]~2008年11月16日[日]

会場:アート・ビオトープ那須、二期倶楽部



## 夜の会

夕食ビュッフェと  
ワン・ドリンクの交歓会



一回 6,000円  
夏の夜の、最大のお楽しみ、夕食ビュッフェ。  
古の、ワイマールはパウハウス顔負けの、見て、食べて、聴いて、深まる五感の夕べ。講師も、生徒もスタッフも、皆いっしょに、素敵で趣向さまざまな、同じ窯の飯を食べて、歓談し、更なる交流と学びを深める至福の一時。サプライズの演出は、詩あり、シャンソンあり、ギターあり、チェンバロあり。戦前のフランスへ、19世紀スペインへ、そしてバロック17世紀へ、勇躍雄飛して夢を遊ばせてその一日の締めくくりが、またまた待ち遠しい。

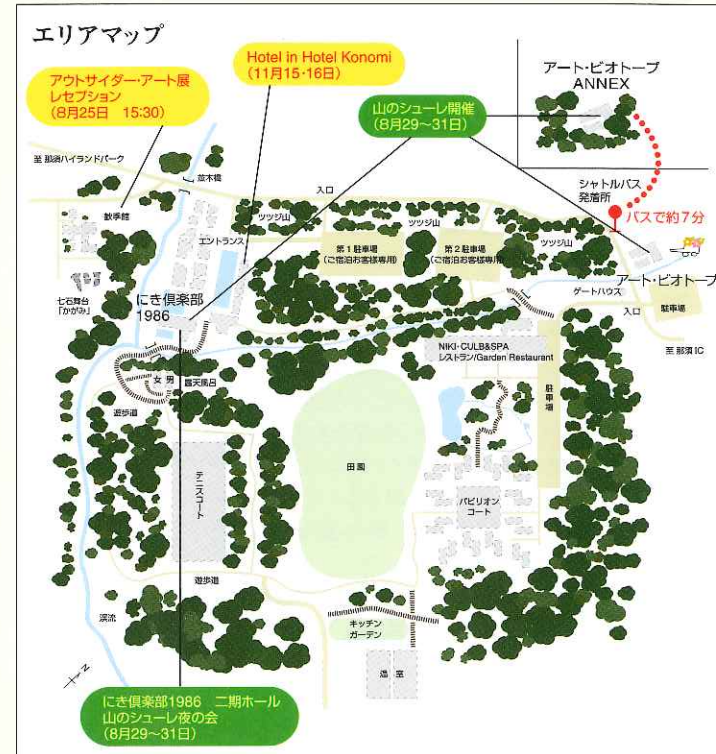
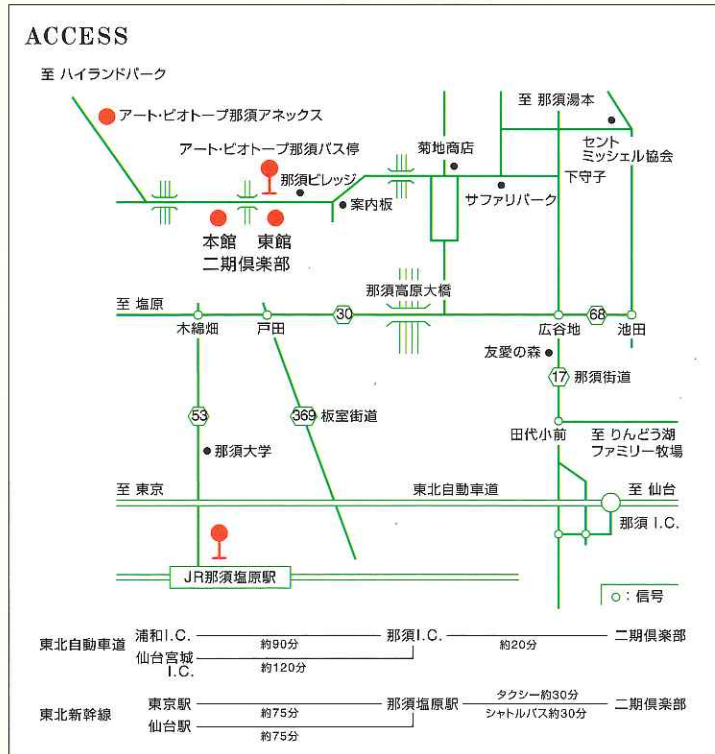
29日[金] **吉田加南子(詩)十ワサブロー(シャンソン)**  
ワサブローさんは、フランスで30年余のキャリアをもつシャンソン歌手。京都出身、関西弁のユニークなトークを交えて、吉田加南子さんとフランス詩を語り、歌う楽しい一夜。

30日[土] **原庄介(ギター)**  
ベルギーなどを中心に国際的に活躍しながら、日本の子守唄をも採集したCDでもよく知られる、シンガー・ソングライターで、ギタリストの原庄介(はらそうすけ)さん。しっとり聴いて、学ぶ、一夜。

31日[日] **平かおり(チェンバロ)**  
チェンバロの奏でとともに過ごす一夜。

## 開催場所マップ

各講座は、二期ホール、アート・ビोटープ那須、アート・ビोटープ那須アネックスおよびキッチンガーデンにて開催予定です。  
各会場へは、当日、巡回バスをご用意いたします。



シャトルバス時刻表

行き 8月28日(木)

シャトルバス発車時刻	講座開始時刻
那須塩原駅(西口) 9:05	アート・ビोटープ那須 9:34
1便 9:05	9:34
3便 9:55	10:30

帰り 8月28日(木)

シャトルバス発車時刻	講座開始時刻
アート・ビोटープ那須 17:40	アート・ビोटープ那須 18:10
10便 17:40	18:10

シャトルバスについては予めご予約をお願いいたします。  
シャトルバスの発着は、基本アート・ビोटープとアート・ビोटープANNEXのみです。  
二期倶楽部本館からの乗車は「夜の会」後のみとなります。

行き 8月29日(金)~8月31日(日)

便名	那須塩原駅(西口)	アート・ビोटープ那須	アート・ビोटープANNEX	アート・ビोटープ那須	アート・ビोटープANNEX
1便	9:05	9:34	10:00	10:00	
3便	9:55	10:30	10:45	10:30	11:00
5便	12:55	13:30	13:45	14:00	14:00
7便	14:55	15:25	16:00	16:30	16:30
9便		16:00	16:15	16:30	16:30

帰り 8月29日(金)~8月31日(日)

便名	アート・ビोटープANNEX	二期倶楽部本館	アート・ビोटープ那須	那須塩原駅(西口)	アート・ビोटープANNEX	二期倶楽部本館	アート・ビोटープ那須
1便	12:50		13:05	13:45	12:30	12:30	
3便	15:50		16:05	16:45	15:30	15:30	
5便			17:40	18:10	18:00	18:00	17:00
7便			18:35	19:10			
9便			21:00	21:30			

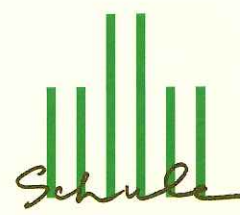
## お申し込み方法

- ファックスまたは郵送でのお申し込みの方  
指定の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたは、郵送にてお申し込みください。受理後こちらよりご連絡申し上げます。ご連絡後1週間以内に合計受講料を申し込み代表者名で指定口座にお振込ください。入金を確認させていただきまして、正式受付とさせていただきます。
- お電話でのお申し込みの方  
下記、山のシュレ事務局までお電話ください。

お申し込み完了までの流れ    フォーム送信 ▶ 山のシュレ事務局より連絡 ▶ ご入金 ▶ 確認 ▶ 正式申し込み ▶ 受講証送付

## お問い合わせ・お申し込み先

アート・ビोटープ那須 山のシュレ実行委員会事務局 〒325-0303 栃木県那須郡那須町高久乙道上2294-3  
TEL 0287-78-7833(代表) FAX 0287-78-6627 Mail: schule@nikiresort.jp  
お振込先: 武蔵野銀行 南浦和支店 普通 株式会社二期リゾート 0230953



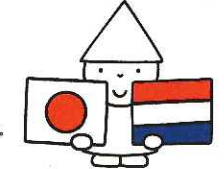
# アート・フェスタ那須2008

「アート・フェスタ那須2008」が「良い環境に良い仲間」が集うをテーマにして環境問題や自然の中で五感を磨くセミナー等を開催することは素晴らしいことです。  
私達、葉山文化塾(葉山文化園主催)も10年前から「人と人との心の触れ合い」「いつまでも自然のままに、自然と共に」をテーマにセミナーやイベントを開催して来ました。  
葉山(神奈川県)は緑豊かな山々と海に囲まれた「御用邸」の町です。那須も豊かな自然に恵まれた美しく雄大な地であり「御用邸」を有しています。

## 特別企画展 オランダ アウトサイダー・アート展

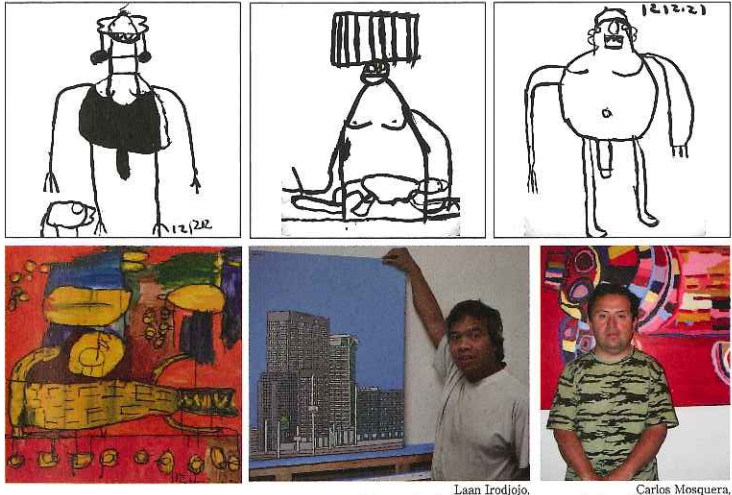
会期/8月29日[金]~11月16日[日]  
会場/二期倶楽部施設内 [協力 二期倶楽部]

日本オランダ年  
2008-2009  
www.nihonoranda.jp



これは「日本オランダ年2008-2009」を記念して描かれたオランダの絵本作家ディック・ブルーナによるオリジナルイラストです。  
Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv, 1953-2008

アート・フェア2008の期間中、オランダ、ライデン市のアトリエ、ヘーレンブラーツおよび Gallery Olof による特別企画展が開催されます。  
ヘーレンブラーツは、オランダのロッテルダム市にて1991年の発足したNGO団体です。発足以来、障害者のアート活動をサポートする他、アウトサイダーアートに関わる講演、プレゼンテーション、ワークショップ等の活動に積極的に取り組まれています。スタジオ、ギャラリー、アートライブラリーを持ち、開設以来、様々な活動を通して、障害をかかえながらも表現し続ける多くのアーティストを世に送り出し、社会とつながってきました。



Laan Irodjojo, photographer Fred Brekelmans  
Carlos Mosquera, photographer Hans Verwaal

Gallery Olofは、ディレクター Huib van den Wijngaard が率いるギャラリーで、ライデンにあります。こちらは、長年の経験を持つHuib氏により今年開設される、新しいアトリエです。  
この度、これら2つのアトリエから、80点余りの作品を展示いたします。そして、それらは今秋11月16日に開催されるアートギャラリーにて販売いたします。  
アウトサイダー・アートとは、「アール・ブリュット」とほぼ同義とされ、直訳すると「芸術的教養に毒されていない人々が制作した作品」とされています。  
正規の美術教育を受けていない人々によって創られたもので、作品からは、人が存在する上で根源的に持っている「表現したい衝動」、その衝動に対する執着、そして既成の枠にとられない大胆かつ力強さが感じられます。  
この企画展を通して、より多くの方々が、ひとりひとりの作家、作品と、心の深い部分で共鳴していただければと、願っています。そして、多くの方に、お求めいただく機会となれば幸いです。

8月	9月	10月	11月	12月
	オランダ アウトサイダー・アート展 8/29~11/16		二期倶楽部 Hotel in Hotel [Konomi]	
			11/15,16(展覧) 11/17~12/25(一般宿泊)	
	山のシュレ 8/29,30,31		アートギャラリー 11/15,16(展示販売日)	
	マーケット 8/29,30,31		マーケット 11/15,16	

## 二期倶楽部 Hotel in Hotel [Konomi]

稀代のクリエイターが、二期倶楽部[にき倶楽部1986]のゲストルームを「自分好み」の室にリ・デザインし、世界にたったひとつの部屋として提案します。一般公開後は事前予約で宿泊もできます。  
一般公開日/2008年11月15日[土]・16日[日]  
場所/にき倶楽部1986  
栃木県那須郡那須町高久乙道上2301  
クリエイター/甘露時芳子[スタイリスト]、ヒロコ・コシノ[ファッションデザイナー]、須藤玲子[テキスタイルデザイナー]、塚田晴可[ギャラリー無境主人]、松浦弥太郎[文筆家、「暮らしの手帖」編集長]、皆川明[ファッションデザイナー]  
主催/二期倶楽部 電話番号:0287-78-2215

## マーケット

野菜やくだもの等の秋の恵みを販売する市場や、古絵本や骨董を販売する市場。地元方々や、地元の工芸作家などに広く公募し、多種多様な市場が一同に会し、楽しいコミュニケーションの場が生まれます。  
実施日/2008年8月29日[金]・30日[土]・31日[日]  
2008年11月15日[土]・16日[日]  
場所/アート・ビोटープ那須  
栃木県那須郡那須町高久乙道上2294-3  
主催/アート・フェスタ那須2008実行委員会  
住所:〒107-0062東京都港区南青山1丁目21-11 NIKIビル2F  
電話番号:03-5410-5315  
【協力】株式会社二期リゾート



## アート・ギャラリー

展示販売日  
2008年11月15日[土]・16日[日]



# アート・フェスタ那須2008 [山のシュレ]

ロマン派芸術を大成して、詩と音楽を、壮大な舞台芸術に融合させたかのヴァーグナーが、バイエルンの小村、バイロイトに自らの劇場を建てたのは、十九世紀末のドイツ。都市生活の息苦しさから逃れて、田園のなかで人間の原点を探りながら、新しい文化のあり方を模索する芸術家コロニーが、以降、ヨーロッパ中に広がった。

風光明媚なマジョーレ湖畔の山麓、アスコーナという小村に集ったのは、舞踊家ダンカン、小説家ヘッセ、思想家ブーバーやシュタイナーなど、文明の単純な進化に疑問を投げかける異端の碩学たち。近代化

で見落とされつつあった、身体論、東洋主義、神秘学、環境問題などが、議論された。運動でも、主義主張でもなく、人間ひとり一人が真にクリエイティブになるために何が有効かを、自由に語り、考える、正に、小さくて、偉大な学校(シュレ)だった。

今夏、この偉大なる、「反文明的」な「学びのトポス」アスコーナにあやかかって、那須の森の木陰に、小さいけれど、互いが自由に学び、夕げには楽しく食べて飲み、静かに親しく交流しあって、本当の豊かな時間を過ごしてもらうために、ひとつのシュレ(学校)を立ちあげる。

## WORKSHOP

スタジオワークショップ

素材に向き合う、原点の探求「ものづくり」

暮らしのかたち 土に親しむ三日間

中村錦平 / 中村洋子 / 樋口健彦

陶芸作家

8月28日[木] / 29日[金] / 30日[土]

●ご注意、開催は28日からの3日間となりますので、ご注意ください。

3日間 30,000円

1日(10,000円)毎の参加も可能ですが、初日の28日(木)受講は、必須となります。中村錦平(前衛東京焼)、中村洋子(メッシュ造形)、樋口健彦(墨吹きつけ)。豪華巨匠三人に体当たりして五感をフルに解放する、至福の三日間。可塑性に富んだ、粘土の醍醐味を極めながら、暮しにインパクトを与える、用や無用の飾りもの、日常意識をひっくり返す思いっきりの造形を生む、ヴィヴィッドでコンテンポラリーな、本格ワークショップ。講座後に、錦平師による、釉薬がけ、コラボレーションのお誘い、ゴージャスなおまけつき。

炉をつくるから始まる四日間 ガラスの魅惑

高橋禎彦

ガラス作家

デモンストレーション見学 1,000円 ※見学解説資料付(当日受付)

8月30日[土] / 31日[日](要予約)

吹きガラス体験 4,000円

8月30日[土] / 31日[日](要予約)

アート・ピオトープガラス工房に欠かせない「吹きガラス」体験三種の神器(グローリホール・徐冷炉・熔解炉)を設置していくところから始まる山のシュレ企画。すべての設備は高橋禎彦さんの監修の下、専門スタッフ、ガラス専攻の学生らにより、設計から材料調達、また、熔接や切断など、すべて手作業で設備設置を行う。後半の2日間では、完成した設備を使って、実際に、高橋禎彦さんが公開デモンストレーション。一般見学、そして、制作体験ができる。ガラスという素材を身近に感じることができるワークショップ。

ガラス工房プログラム(当日予約)

ガラス工房では、他、とんぼ玉やマドラーなどが制作できるバーナワーク体験も開催予定。オリジナルの作品づくりに気軽に体験できる。



体験ワークショップ

自然、文化、風土を感じる

室礼 日本の風土と美の風習

山本三千子

室礼研究者

8月30日[土]11時~15時30分 ●90分の休憩を挟みます。

参加料金 8,000円(教材費込)

四季の風土、季節に合わせた、自然への讃歌と感謝をしつらえて、美しく楽しんできた、古来からの風習をおさらいして、実践的・体感的に、追体験するワークショップ。

ミツバチが結ぶ、人と自然  
ミクロでマクロな環境学

藤原誠太

養蜂家

8月30日[土]14時~18時

参加料金 6,000円

独自に日本ミツバチの飼育法を開発(藤原式)し、養蜂関係特許を多数保有する養蜂家が、蜂の神秘、特性、ハチミツの効能や利用法まで、ハチミツの極意を、じっくりとワークショップを盛り込み、語る。

ベルエポック・古き良き時代の仏蘭西料理

宮崎康典

二期倶楽部総料理長

8月31日[日]11時~13時

参加料金 6,000円

シンプルなうえにシンプル。深くてまた、瞑想的。そんな、季節の食材を使った、フレンチの、季節料理の真髄を、二期倶楽部総料理長として、繊細かつ大胆な辣腕を振るう、ムッシュ宮崎が開陳。

バロック音楽とチェンバロに親しむ

平かおり

チェンバリスト

8月31日[日]14時~18時

参加料金 6,000円

軽やかな音色に、激情的なハーモニー。いつの時代にも、私たちに虜にしてやまない、バロックの魅力に、チェンバロで迫ります。初心者でも、弾いて、触って、初めて感じる、バロック体感教室。

身近で深い地域 生態学 山野草・採集から料理まで

篠原準八

山野草研究者

8月31日[日]11時~15時30分

参加料金 6,000円

足元の野草を見ずして、なにを語るか——子供の教育と地域振興の一体化、産業・観光・福祉・環境…と、地域それぞれのやりかたで、野草文化を華開かせることに努め、活躍している篠原準八先生と歩く那須の山。野草の様々な可能性とともに、野草の見分け方、採取の仕方、そして食し方を知り、体験していきます。

